

瑞穂町教育振興計画の策定を

上野 勝 議員（自民）

教育長 3年間かけて策定する予定



質問 子どもたちを取り巻く環境は物質的な豊かさの反面、危機的状況が生まれている。教育にも学力の低下、教師の資質向上、学校の安全などの課題がある。「子どもが生きる力を育む教育」のために、学校、家庭、地域、行政がそれぞれ何をなすべきかの目安として「瑞穂町教育振興計画」を策定し、実現に向けて町民、地域、行政が一体となった教育を進めるべきである。教育長の所見を伺う。



校庭で遊ぶ子どもたち(二小)

教育長 町教育委員会では、学力向上や規範意識の醸成といった今日的課題の改善もさることながら、新しい時代にふさわしい学校教育・社会教育・特別支援教育等の方について方向性を示す必要があると考えている。そこで、本年度から3年間かけて、町の長期総合計画との整合性を図りながら「瑞穂町教育基本計画」を策定する予定である。

こんな質問もありました

「役場通りの大型バス通行規制解除を。」

町長 現段階での解除は難しい。

町の安全について

総合的見解を問う



島 英之 議員（自民）

町長 危機管理マニュアルを策定中

質問 先刻アメリカで金属疲労による橋の落下崩壊事故が発生した

が、普段気にもかけなかった「安全」という思いが一瞬にして覆された事件でもあった。

平素の行政取り組みについて伺う。



町の防災訓練(四小)

言い換えれば、日頃から危険・災害等との表裏の中で生活しているといっても過言ではないといえよう。

町長 町は昨年度、国民保護計画を策定し、それを受けて危機管理マニュアル策定委員会を設置した。マニュアルの内容は、職員の住民対応、重大事故、感染症・毒物による健康被害などを含め、総合的な危機管理体制についてである。

図書館運営の現状と課題について

近藤 浩 議員（改革）

教育長 駅西口に新図書館を建設したい



質問 文化水準を高め、発信していくための図書館機能は重要であり、下記の点で教育長の所見を伺う。

問① 住民参加の現状と課題について。

問② 町の各所に返却ポストを置くことについて。

問③ 広域利用の現状と課題について。

問④ 休日の住民票などの発行について。

問⑤ 新図書館建設の費用の問題もあり、現在の4つのポストで対応したい。

公共施設の計画は慎重に

谷 四男美 議員（住民）

町長 地区の将来の発展を見据えて



質問 公共事業は真に住民が必要とする施設を必要な場所に設置しなければ活用されない。



長岡コミュニティセンター予定地

長岡地区には、町全体のバランスから見ると公共施設が少ないうえ、地域住民にとって期待の大きい事業である。また、本事業が地域活性化のための起爆剤となり、長岡地区の発展につながっていくものと信じている。

こんな質問もありました

「住民投票条例の制定を。」

町長 議会で議論を尽くすことが基本。

問① 住民参加の現状と課題について。

問② 町の各所に返却ポストを置くことについて。

問③ 広域利用の現状と課題について。

問④ 休日の住民票などの発行について。

図書館で行われているおはなしの会